

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく
留萌川の減災に関する取組のフォローアップ

令和3年7月

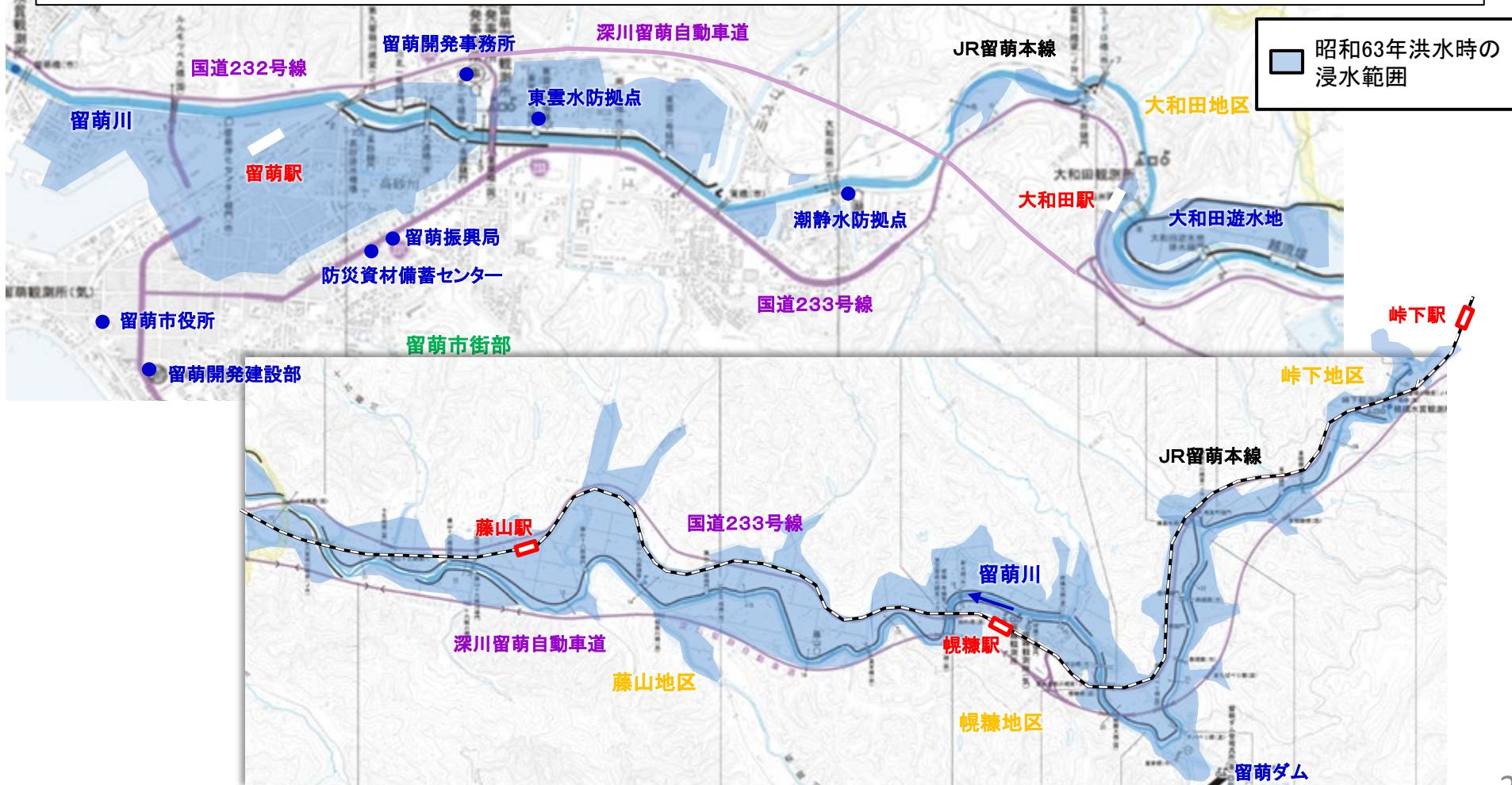
留萌川減災対策協議会

本資料は、令和2年度における
留萌川の減災に関する取組実績を
取りまとめた資料です。

1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川の地形的特徴～

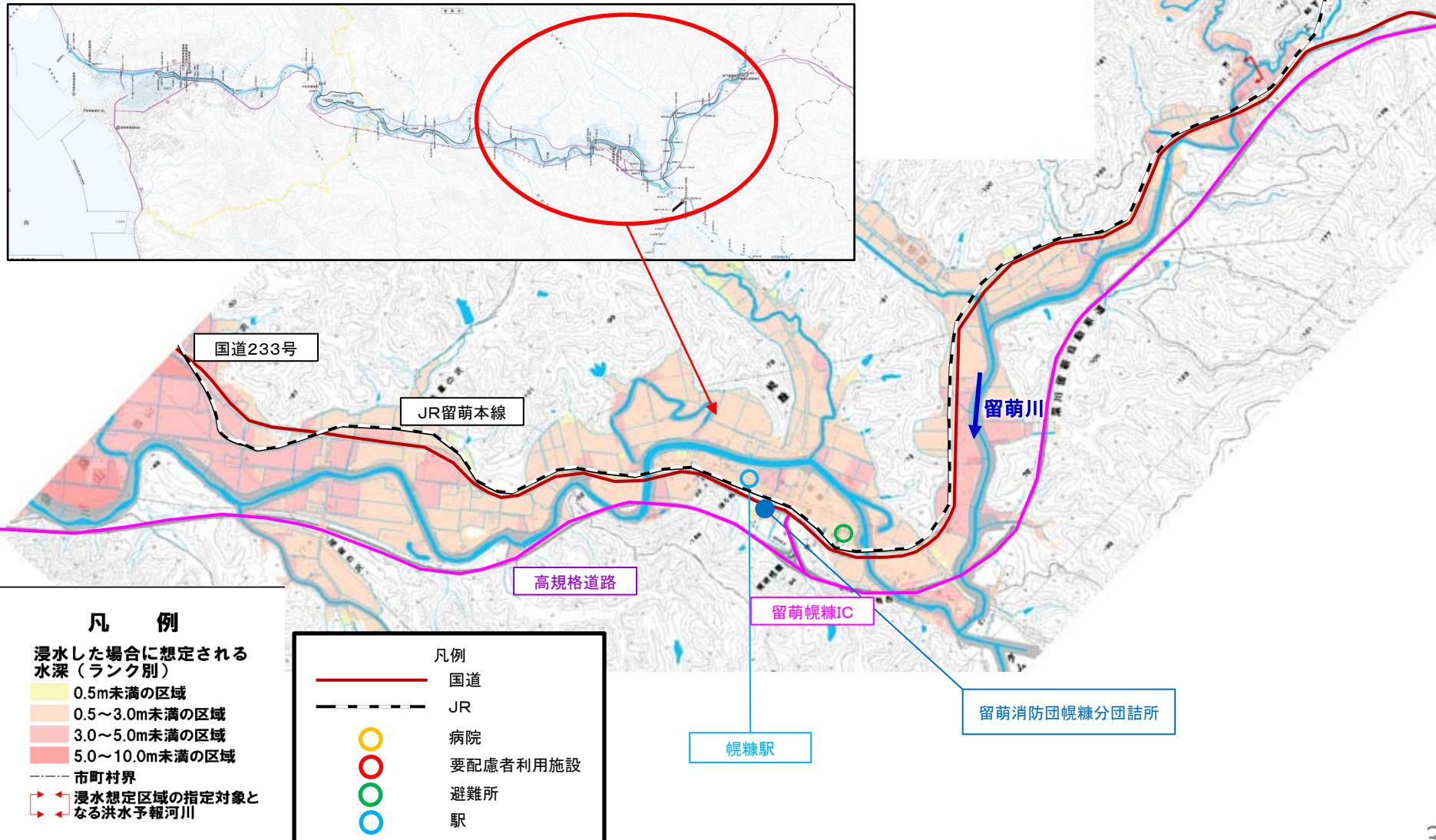
- ① 山地に挟まれた地形(谷底を流れるような地形)を流下することから、流域内に降った雨は短時間で留萌川に集中する。
- ② 中上游部では狭隘な低平地が河川沿いに分散し、集落が形成されており、下流部では三角州状の低平地に留萌市街地が形成され、留萌川が市街中央部を貫流する。

昭和63年洪水では急激な水位上昇が観測され、市街地の1/3が浸水した。



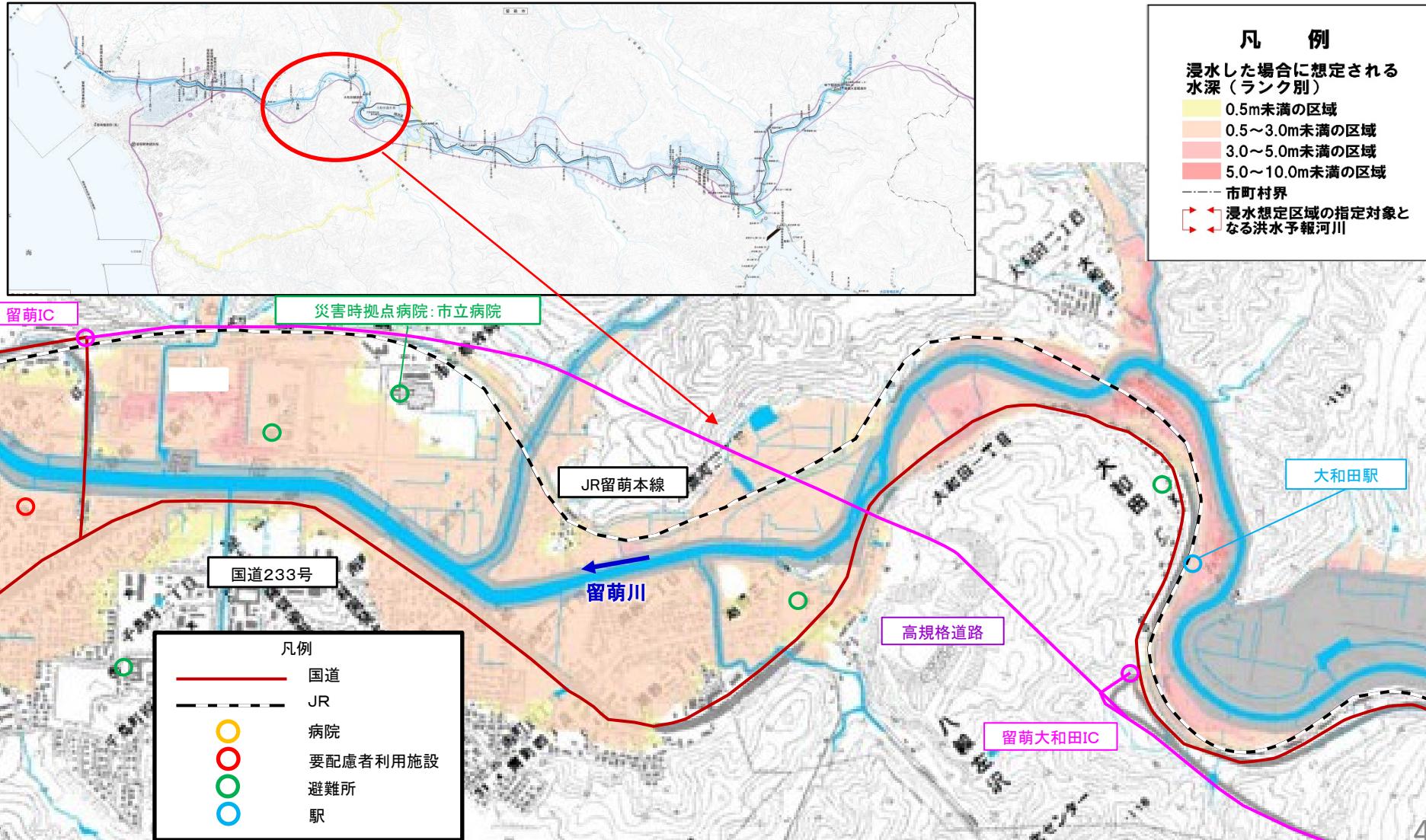
1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(上流部)～

上流部の集落が位置する狭隘な低平地はほぼ全域にわたり浸水し、住宅のみならず、近傍の避難所施設においても浸水のおそれがある。加えて分散する地区を結ぶ国道233号線をはじめとする避難路が途絶するおそれがある。



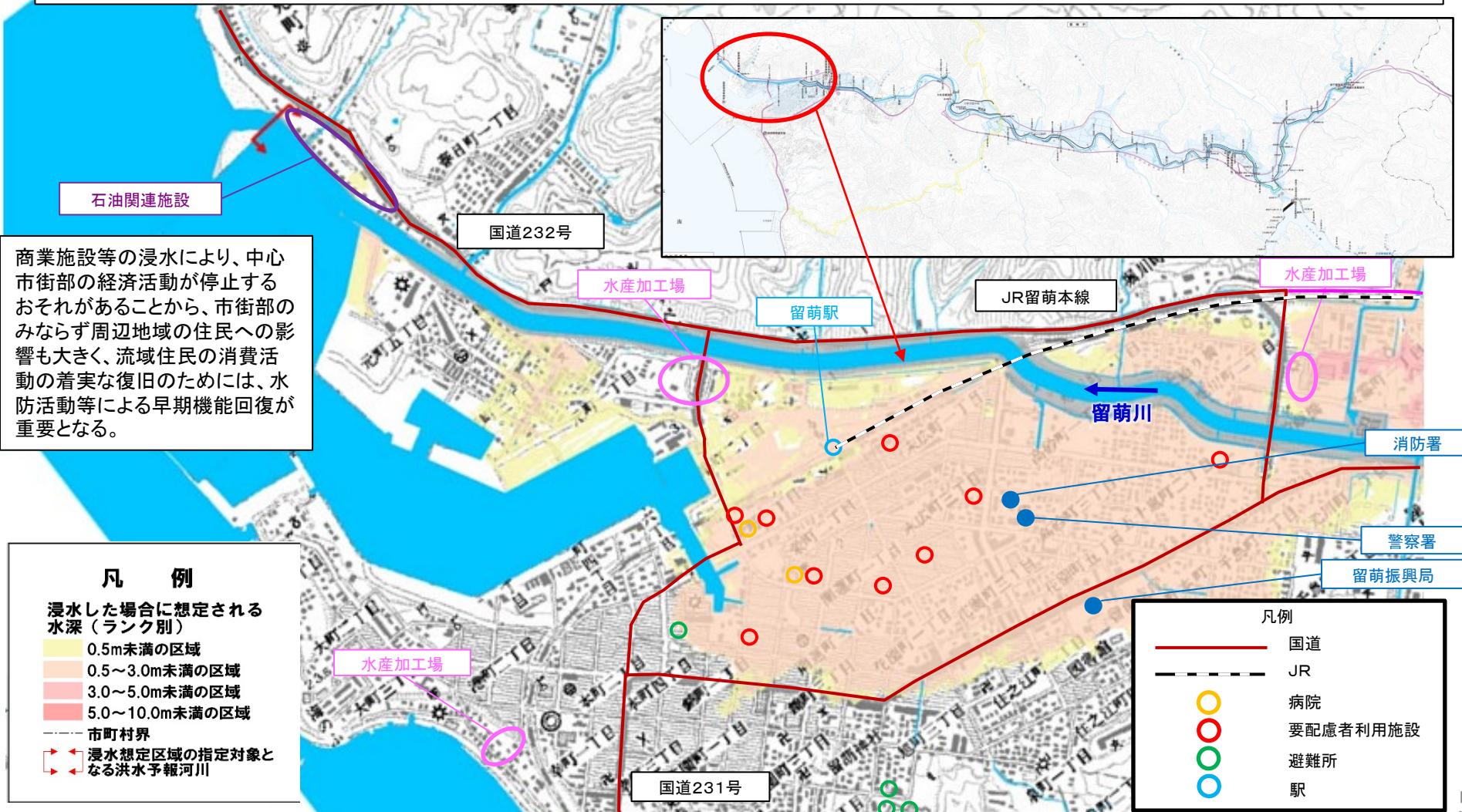
1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(中流部)～

留萌市街部から高規格道路に至る国道233号線が、浸水により通行止めとなり、上流で浸水が生じた場合の負傷者等の災害時拠点病院への搬送や、留萌市街地への避難が困難となることに加えて、周辺市町村からの支援受入に時間要するおそれがある。



1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(下流部)～

留萌中心市街部では、氾濫水の到達が速く、早期に避難困難水位に達することに加え、氾濫水の広がりにより、広範囲にわたり1階部分が水没する懸念がある。当該地区には住宅等が高密度で分布しており、災害時要配慮者利用施設も複数存在することから、高台の避難所施設への水平避難や、施設内における垂直避難の迅速な実施が必要となる。



2. 現状の取組状況

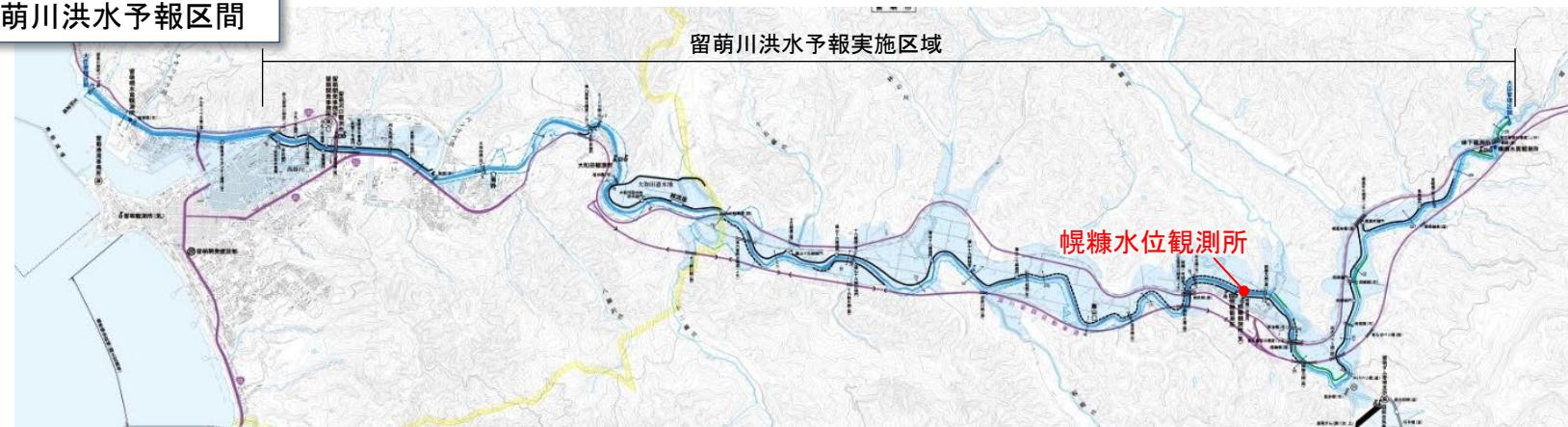
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施している。
- ・重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開発建設部長から留萌市長に対して情報伝達（ホットライン）をしている。
- ・重大災害の発生のおそれがある場合、関係自治体、機関と情報共有を図っている。
- ・河川情報については、インターネット等を活用して入手している。
- ・被災情報や避難勧告などの情報については、振興局及び留萌市の災対本部等より入手している。

■留萌川洪水予報区間



課題

A

- ・洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不充分であることが懸念され、継続的な周知が必要

3. 現状の取組状況

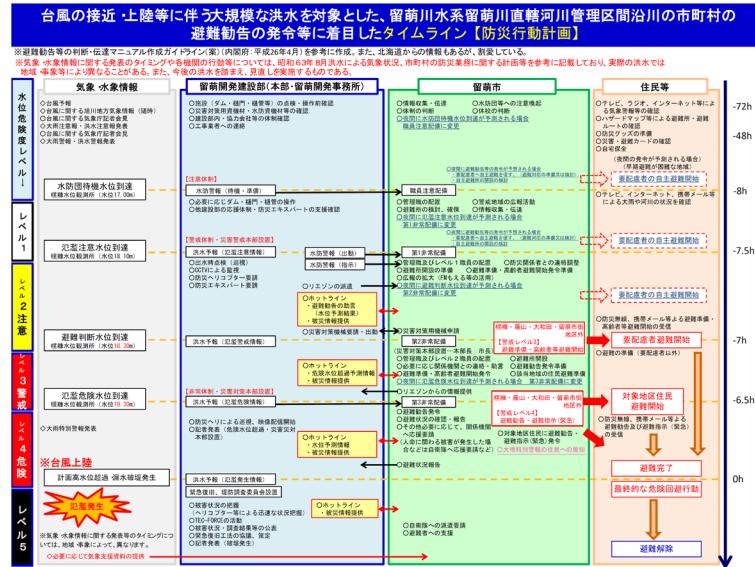
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成している。
 - ・避難勧告等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

現状

留萌市の避難勧告等の発令に 着目したタイムライン



課題

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

B

- ・現行の地域防災計画には、水位に対応した避難勧告等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、災害時要配慮者利用施設等への情報伝達の手法等が定められていない。

C

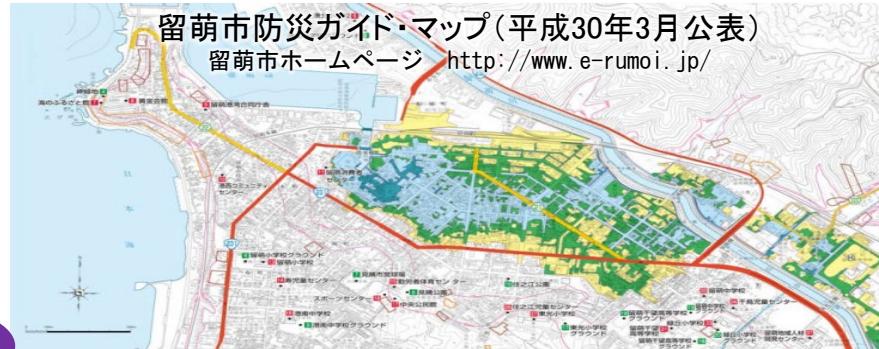
3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

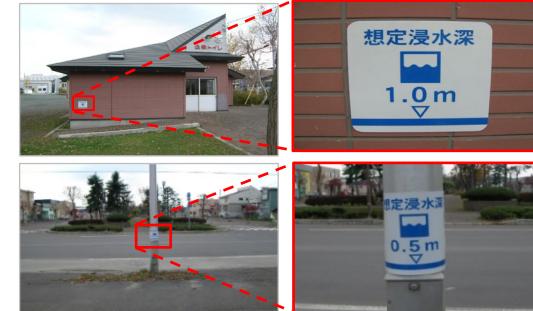
『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップを作成し浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。また、まるごとまちごとハザードマップを設置している。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



課題

D

- ・浸水想定区域図に記載された浸水深等の情報が災害リスクとして充分に認識されていないことが懸念される。

E

- ・避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・市街地の大部分が浸水する可能性があるため、多くの避難者が集中した場合には、避難所施設が不足することが懸念される。

G

- ・広範囲の浸水により、近傍の避難場所を利用できないことが懸念される。

H

- ・中上流部では国道の浸水により、災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
 - ・避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車等により伝達するとともに、FMもえるを活用した情報発信も実施している（インターネット配信も実施しており、スマートフォン等でリアルタイム情報取得が可能）。
 - ・消防計画や地域防災計画等に基づき、警戒レベル4(避難勧告・避難指示(緊急))の住民への情報伝達を支援している。
- ・避難誘導は、地域防災計画に基づき市職員、警察、水防団が実施している。

課題

I

- ・高気密性住宅が多いことに加え、風雨などの騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

J

- ・高齢者など一部の住民に伝わっていない可能性がある。文字・水位情報のみでは分かりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。

K

- ・地域防災計画には、市職員、警察、水防団が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

3. 現状の取組状況

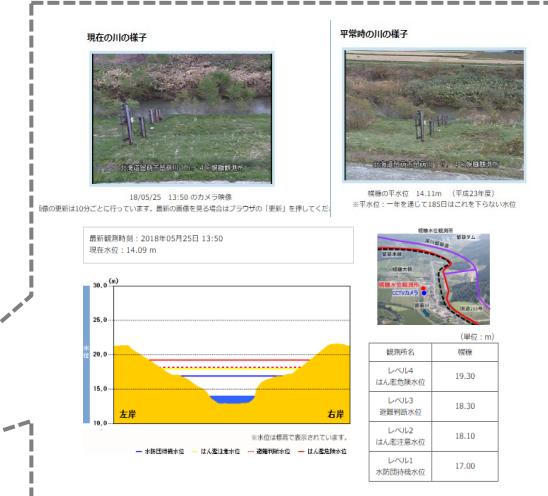
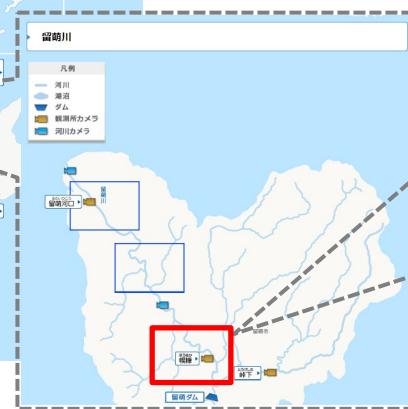
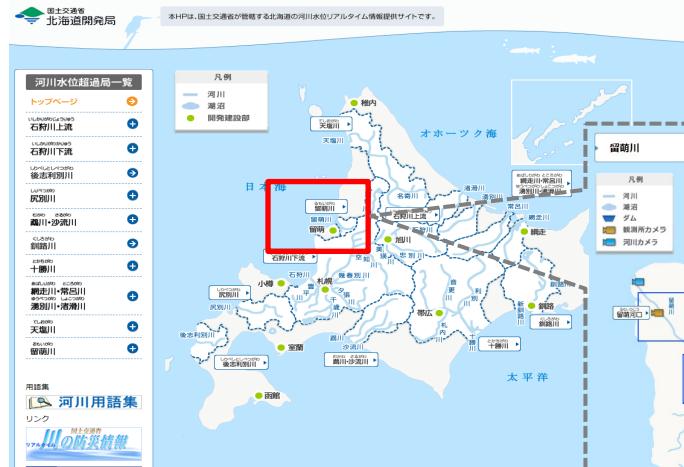
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡回区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・基準観測所の水位により水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報



課題

- ・河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不充分である。

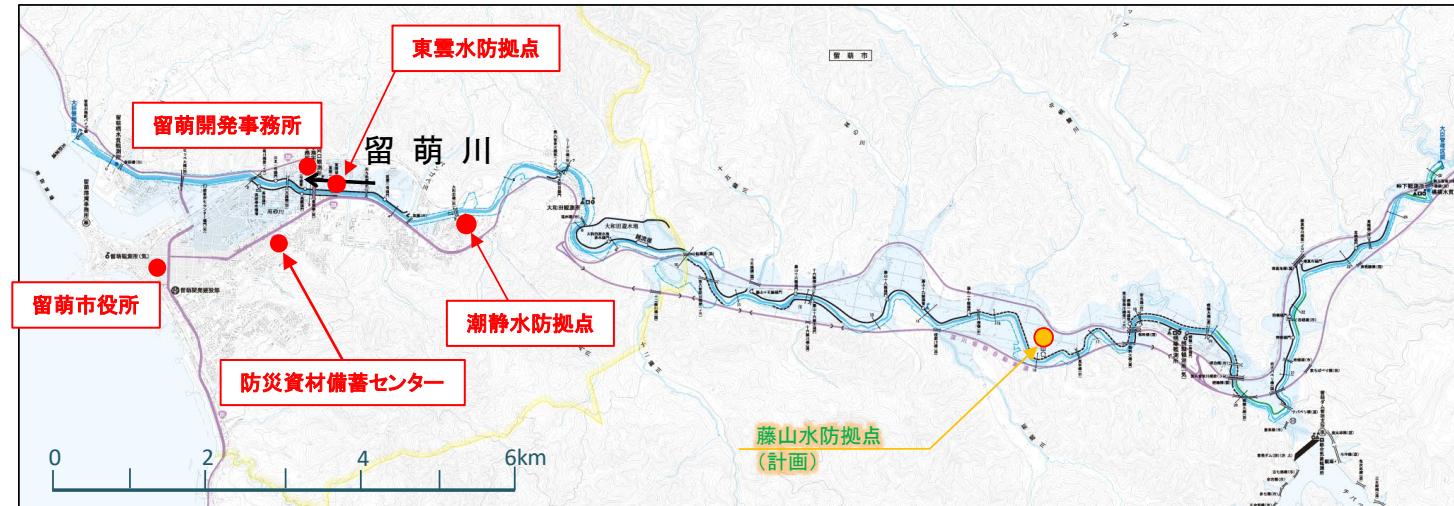
3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・平常時に水防活動の効率化を図るために、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所の合同巡視を実施しており、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。
- ・地域防災計画に基づき、出水時には水害の危険性の高い地域への巡視を実施。
- ・水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



課題

M

- ・住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とは言えない。

N

- ・中上流部における水防資機材保管場所が確保されていないことから、資機材搬入時間の短縮が求められる。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、**『水防活動の実施体制』**、『その他』

現状

- ・市職員が「北海道地域防災マスター」を積極的に取得し、防災体制の強化に努めている。
- ・自助・共助による災害に強い地域づくりを目指し、自主防災組織への助成金制度を新設するとともに、広報誌や市のHPなどで自主防災組織の結成促進に取り組んでいる。



留萌市市民防災訓練（平成26年8月30日実施）

課題

○

- ・水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

3. 現状の取組状況

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

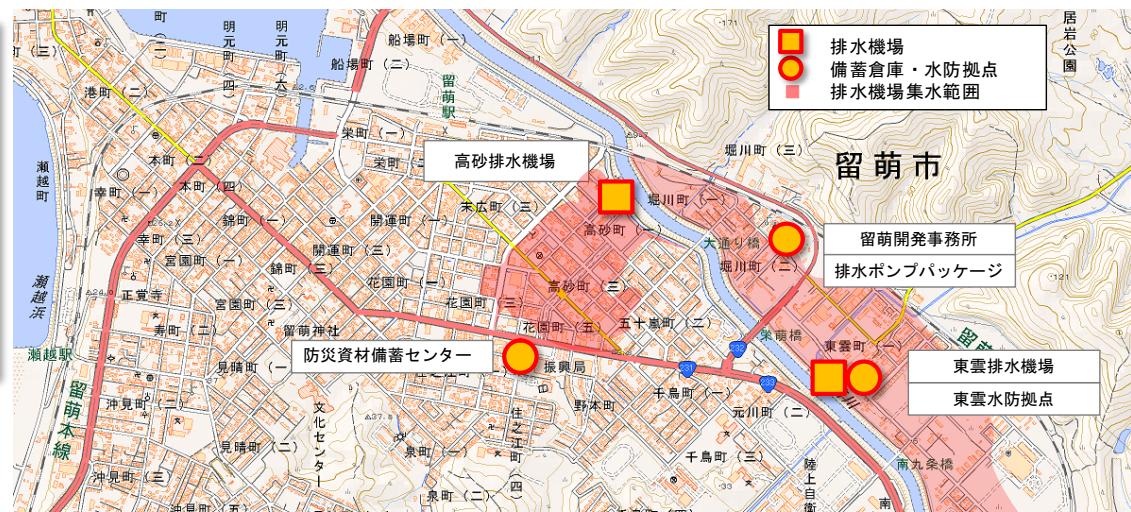
『排水施設、排水資機材の操作・運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

- ・関係機関と連携した排水訓練を実施している。
- ・水防資機材は事務所、水防拠点等に保有しており、非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



課題

P

- ・大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

Q

- ・広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、共有が不充分である。

3. 現状の取組状況

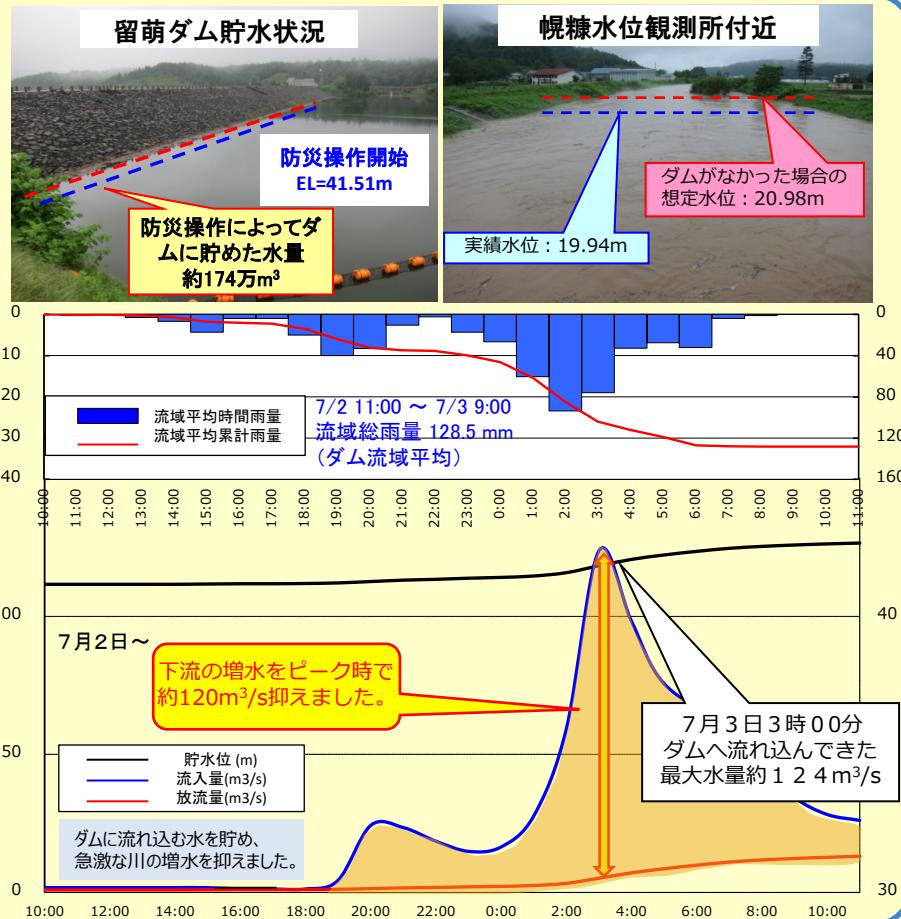
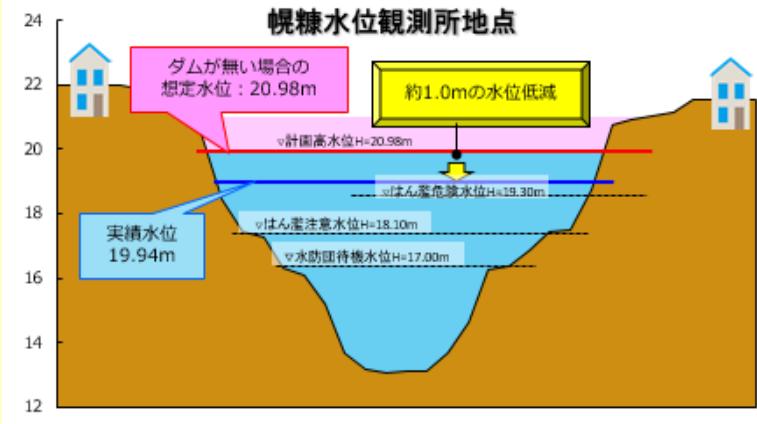
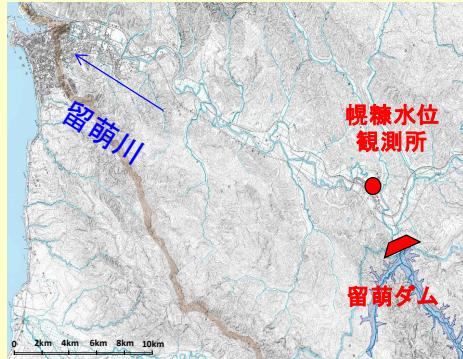
③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

『排水施設、排水資機材の操作、運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

- 平成22年4月より留萌ダムの運用を開始し、洪水調節により、平成30年7月洪水時には約1mの水位低減効果(幌糠水位観測所)を発揮している。

平成30年7月洪水時の効果



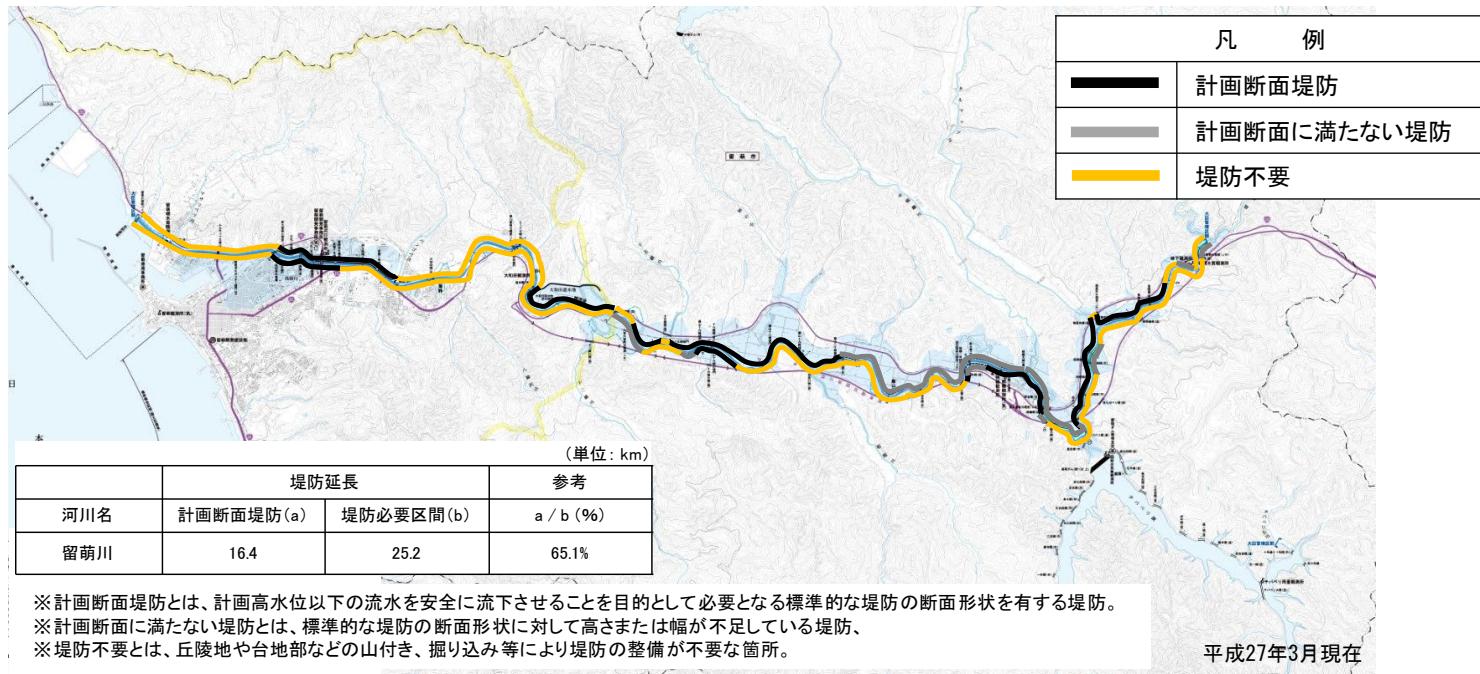
3. 現状の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- ・計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、中流部で堤防整備を実施している。



課題

R

- ・無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。

4. 減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

留萌川の大規模水害に対し

「迅速・確実な避難」、「社会経済被害の最小化」を目指す

～急激な水位上昇に対応可能な迅速・確実な避難と氾濫域の洪水被害軽減を図る～

■ 上記目標達成に向けた3本柱

留萌川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組
2. 社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組
3. 社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

5. 概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

①急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討
- ・道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・避難のための時間等を考慮した避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催
- ・コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

②社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

③社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水を河川内で安全に流す対策

課題対応: R

- ・堤防整備・河道掘削等の流下能力向上対策に関し、優先的に対策が必要な区間について、対策を実施する。
- ・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所で、上下流バランスを確保しながら実施する。



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■危機管理型ハード対策

課題対応：R

○氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、令和2年度を目途に決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。
【留萌開発建設部】

□堤防天端の保護(大和田地区、藤山左岸地区、藤山右岸地区、藤山上流地区、幌糠地区)

□堤防裏法尻の補強(大和田地区、藤山左岸地区、藤山右岸地区、藤山上流地区、幌糠地区)

※現地状況を精査し、対策が必要な箇所について順次整備

実施前



実施後



実施前

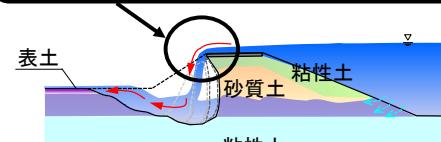


実施後

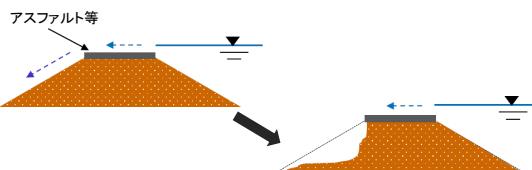


堤防天端の保護

- 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



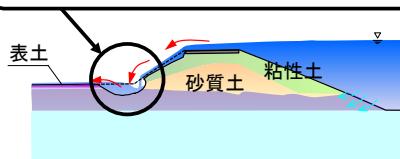
堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



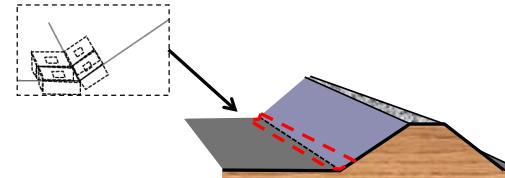
堤防天端の保護

堤防裏法尻の補強

- 裏法尻をブロック等で補強し、深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防裏法尻をブロック等で補強



裏法尻の補強

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応： I J

- スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築 【平成28年度から実施：留萌開発建設部】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 【平成29年度から実施：留萌開発建設部】
- 高齢者に配慮し、防災ラジオなどの様々な情報伝達手段の整備を検討 【平成29年度実施：留萌市】
- 危機管理型水位計の整備 【平成30年度から実施：留萌開発建設部、留萌振興局】
- 簡易型河川監視カメラの整備 【令和元年度から実施：留萌開発建設部、留萌振興局】

○水防拠点の整備(藤山地区)【留萌開発建設部】

課題対応： N

	留萌開発建設部	旭川地方気象台	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	○水防拠点の整備にむけて準備等を継続 ○簡易型河川監視カメラの整備	○危険度分布における危険度の高まりをプッシュ型でスマートフォンのアプリやメールで通知するサービスを、気象庁の協力の下で民間の協力事業者が開始。(R1.7) ○台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危機感をより効果的に伝え防災行動に役立てていただくために、気象庁防災情報Twitterアカウントを新たに開設し運用開始。(R1.10) ○気象庁HPやスマートフォンにおいて、大雨の危険度と併せ、自分が住んでいる場所の危険性も同時に確認できるよう、「危険度分布」と浸水想定区域や土砂災害警戒区域等リスク情報を重ね合わせてするよう改善を実施。(R1.12)	○危機管理型水位計の整備	○引き続き配布を継続
令和2年度 実施内容	○水防拠点の整備に向けた検討を実施 ○水位データについて引き続き公開 ○カメラ画像を引き続き公開	○より多くの方に気象庁の危機感を伝えるため、YouTubeを利用した「緊急記者会見」のライブ中継を開始 (R2.3)	○水位データについて引き続き公開 ○水位表示板及び量水標を高砂川に設置 ○カメラ画像を引き続き公開	○引き続き配布を継続
令和3年度 実施予定	○水防拠点の整備に向けた準備等を継続 ○水位データについて引き続き公開 ○カメラ画像の公開	○必要に応じて改良	○水位データについて引き続き公開 ○カメラ画像の公開	○津波浸想域内を対象に防災ラジオ配布中 ○新たな情報伝達手段への変更に向けた準備

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 簡易型河川監視カメラの整備

課題対応： H I

- 電源・通信ケーブルの確保不要で容易に設置が可能なカメラ。月明かり程度の明るさで静止画撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを縮減。
- リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

【特徴】

屋外に容易に設置

- 無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要（無線通信、太陽電池等を利用）

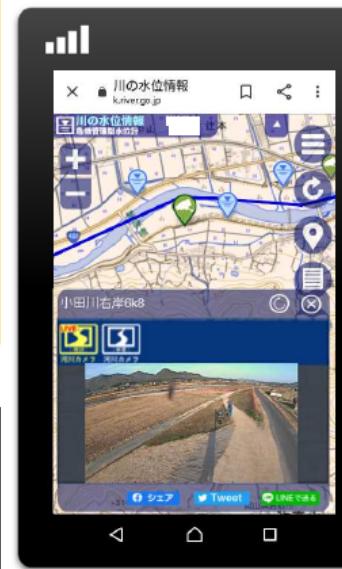
機能を限定しコストを低減

- ズームや首振り機能は削除
- 機器本体価格は、30万円/台程度

インターネットを経由して画像を収集

- 水位計のデータ等と併せて提供

【配信イメージ】



(昼間)



(夜間)

【設置状況】



令和元年度
河川簡易型カメラ整備台数
天塩川（下流）26台
留萌川 9台

「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



※閲覧方法は次ページ以降を参照

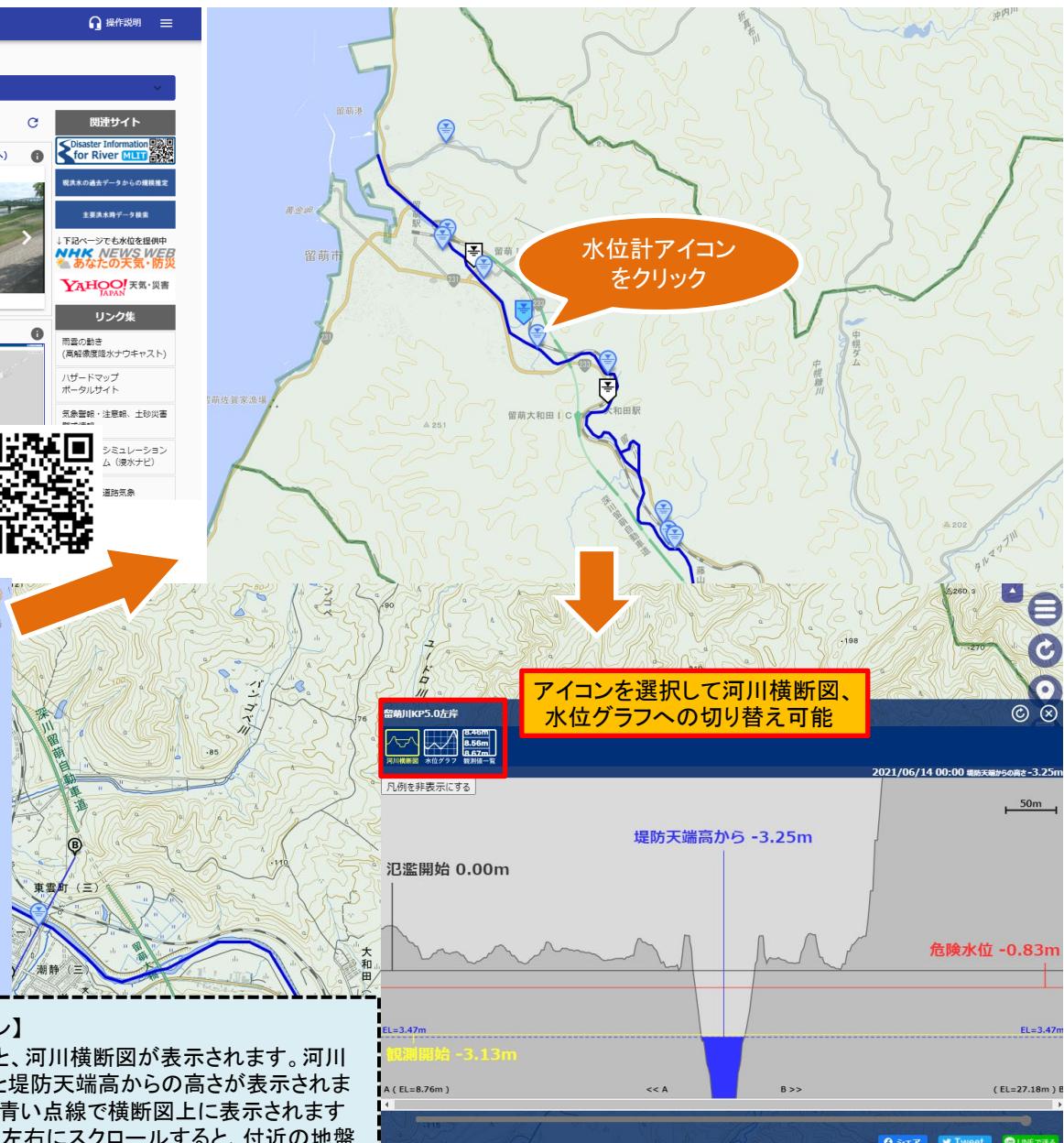
6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(水位情報の閲覧)

The screenshot shows the main interface of the 'River Disaster Information' portal. It includes a top navigation bar with links for '全国' (National), '北海道' (Hokkaido), '東北' (Tohoku), '関東' (Kanto), '北陸' (Hokuriku), '中部' (Chubu), '近畿' (Kinki), '中国' (Chugoku), '四国' (Shikoku), '九州' (Kyushu), '沖縄' (Okinawa), and '未登録' (Unregistered). A search bar is present above the content area. The main content area features several map-based modules:

- ダム放流水量**: Map of Japan showing dam discharge volumes.
- レーダ雨量(XRAIN)**: Map of Japan showing radar rainfall data.
- 気象監視・注意報、土砂災害警戒情報**: Map of Japan showing meteorological monitoring, early warning reports, and landslide alerts.
- 河川カメラ(→全国のカメラへ)**: A camera view of the Nakagawa River in Sapporo.
- 川の水位情報**: A map of Japan with a red box highlighting the northern region, labeled 'クリック' (Click).
- 洪水の危険性が高まっている河川**: Map of Japan showing rivers at high risk of flooding.
- 洪水予報、水位到達情報**: Map of Japan showing flood forecasts and water level arrival information.
- 洪水キックル(危険度分布)**: Map of Japan showing flood risk distribution.

A QR code is located in the center-right of the page. A large orange arrow points from the '川の水位情報' module on the left to a detailed river map on the right.

<https://www.river.go.jp/portal/#80>



【河川横断図アイコン】

アイコンを選択すると、河川横断図が表示されます。河川部分に水面の位置と堤防天端高からの高さが表示されます。水面の位置は、青い点線で横断図上に表示されますので、河川横断図を左右にスクロールすると、付近の地盤高と水面の位置関係を確認出来ます。

6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(河川カメラの閲覧)

The screenshot shows the main interface of the 'River Disaster Information' website. It includes a top navigation bar with links for '全国' (National), '北海道' (Hokkaido), '東北' (Tohoku), '関東' (Kanto), '北陸' (Hokuriku), '中部' (Chubu), '近畿' (Kinki), '中国' (Chugoku), '四国' (Shikoku), '九州' (Kyushu), '沖縄' (Okinawa), and '未登録' (Unregistered). A search bar is present above the content area. The main content area features several cards: 'ダム放流水量' (Dam Discharge Volume), 'レーダ雨量(XRAIN)' (Radar Rainfall (XRAIN)), '気象監視・注意報、土砂災害警戒情報' (Weather Monitoring, Attention Reports, Landslide Alert Information), '河川カメラ' (River Camera) with a thumbnail image of a river scene, and other cards for '洪水予報、水位到達情報' (Flood Forecast, Water Level Arrival Information) and '洪水キックル (危険度分布)' (Flood Kickler (Risk Distribution)). A QR code is located in the bottom right corner of this section. An orange speech bubble with the text 'クリック' (Click) points to the 'River Camera' card.

<https://www.river.go.jp/portal/#80>



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策(地方気象台)

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:

H

I

◆スマートフォンを活用した情報提供

■YouTubeによる緊急記者会見の生中継 (令和2年3月～)

気象庁自らYouTubeによる「緊急記者会見」の生中継を行うことで、より多く皆様に気象庁の危機感を伝えることができ、防災行動へ繋がることが期待される。

気象庁公式YouTubeチャンネルURL

<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: I J



北海道

留萌振興局での取組みについて

水位表示板及び量水標の設置を実施

- 中小河川において河川水位の状況を住民に把握し易くし、洪水時の適切な避難判断を促すことを目的としている。
- 設置については、要配慮者利用施設が浸水する恐れのある河川または水位周知河川とした。
- 令和元年度に設置した簡易型河川監視カメラの画角内に水位表示板及び量水標を設置しており、「川の防災情報」からも閲覧できる。



高砂川 (R3.3撮影)



カメラはR元年度に設置



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応： D E F G

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映【～平成30年度：留萌市】
- 道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

	留萌開発建設部	留萌振興局	留萌市	
令和元年度 実施内容	—	○道道を避難の支援路として、適宜市町に提供	○新規転入者に配布を継続するとともに、住民周知を実施	
令和2年度 実施内容	—	○道道を避難の支援路として、適宜市町に提供	○新規転入者に配布を継続するとともに、住民周知を実施 ○ICの一角を避難場所として使用することについて検討	
令和3年度 実施予定	—	○引き続き、市町の要望に応じて道道を避難の支援路として提供	○引き続き、新規転入者に配布を継続するとともに、お茶の間トークや防災講話を活用して住民への周知を実施	
	消防	道警	自衛隊	J R
令和元年度 実施内容	—	○隨時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している。	○道路管理者との連携及びインターネットを活用して、北海道開発局『北海道地区道路情報』等により道路情報を入手	—
令和2年度 実施内容	○災害時に円滑な対応をするため、道路管理者等の関係機関との連絡体制を強化する。	○隨時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問又は電話連絡するなどして情報共有及び情報提供依頼を行い、連絡体制を維持している	○道路管理者との連携及びインターネットを活用して、北海道開発局『北海道地区道路情報』等により道路情報を入手	—
令和3年度 実施予定	○継続実施	○引き続き、市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る。		—

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応： B C K

- タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上

【平成29年度から実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

- 各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し 【～令和2年度：留萌市、消防】

	留萌開発建設部	旭川地方気象台	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年4月24日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○令和元年5月10日、タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年4月24日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○令和元年5月10日、タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年5月10日、タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年5月10日、タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施 ○警戒レベルを用いた避難情報についての住民説明会の開催と避難訓練の実施 ○関係機関と連携し、地域防災計画の修正及び各種マニュアルの修正・整備 ○ヤフー株式会社との災害協定を締結し、プッシュ型防災情報配信を開始
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年5月11日 洪水予報対向試験 ○令和2年5月15日 洪水対応演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年5月11日 洪水予報対向試験 ○令和2年5月15日 洪水対応演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年5月15日 洪水対応演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年5月15日 洪水対応演習 ○警戒レベルを用いた避難情報についての住民説明会の開催と避難訓練の実施 ○関係機関と連携し、地域防災計画の修正及び各種マニュアルの修正・整備 ○ヤフー株式会社との災害協定を締結し、プッシュ型防災情報配信を開始 ○町内会防災連絡員に対する情報伝達訓練の実施
令和3年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな情報伝達手段への変更に伴い、情報伝達訓練の実施 ○洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな情報伝達手段への変更に伴い、情報伝達訓練の実施 ○洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな情報伝達手段への変更に伴い、情報伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな情報伝達手段への変更に伴い、情報伝達訓練の実施

	消防	道警	自衛隊	J R
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年5月10日洪水対応演習（情報伝達訓練）に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体等主催の防災訓練等に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体等主催の防災訓練等に参加 	—
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会で確認した内容を消防署内で周知し、災害時に積極的に活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体等主催の防災訓練等に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○訓練への参加及び訓練成果の情報提供 	—
令和3年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、自治体等主催の防災訓練等に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続実施 	—

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: B C K

令和2年度に実施した取り組み内容(留萌市)

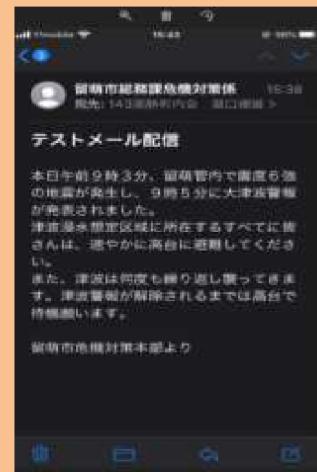
市内防災連絡員へのメールを活用した情報伝達訓練の実施

○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年行っているような市民防災訓練は中止し、市役所から登録された防災連絡員に対する情報伝達訓練を実施

市から防災情報配信

留萌市災害対策本部から、「留萌沖で大地震が発生し、大津波警報が発令された！」との想定のもと、町内会各防災連絡員に防災メールを一斉配信します

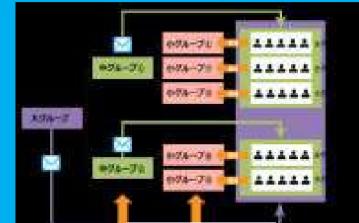
メール登録している連絡員のみです



町内会内の伝達・連絡

連絡網を作成している町内会においては、市からの防災情報を受けた後、各町内会内に電話などで伝達し、連絡網図の実効性を確認・検証して下さい

訓練である旨を必ず伝えて下さい



避難訓練(任意訓練)

電話連絡実施後は、各町内会毎に最寄りの指定避難場所等への避難訓練を実施するなど、町内会計画で可能な限りの訓練を行って下さい

各町内会計画で実施して下さい
指定避難所は開設しません



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応： C E

- 災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進 【～令和2年度：留萌市、消防、道警、自衛隊】

	留萌開発建設部	旭川地方気象台	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	—
令和2年度 実施内容	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○災害時要支援者の名簿を作成し、消防・警察・自治会長等の関係機関に配付
令和3年度 実施予定	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○管内要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援を継続実施	○継続実施

	消防	道警	自衛隊
令和元年度 実施内容	—	○各自治体等が主催する防災訓練に参加 ○交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施	○各自治体等が主催する防災訓練に参加
令和2年度 実施内容	○避難訓練で消防的観点から指導・助言をする。	○各自治体等が主催する防災訓練に参加 ○交番、駐在所勤務員に対し避難誘導に関する訓練、教養を実施	○訓練への参加及び訓練成果の情報提供
令和3年度 実施予定	○継続実施	○引き続き、各自治体等が主催する防災訓練に参加 ○引き続き、交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応： A

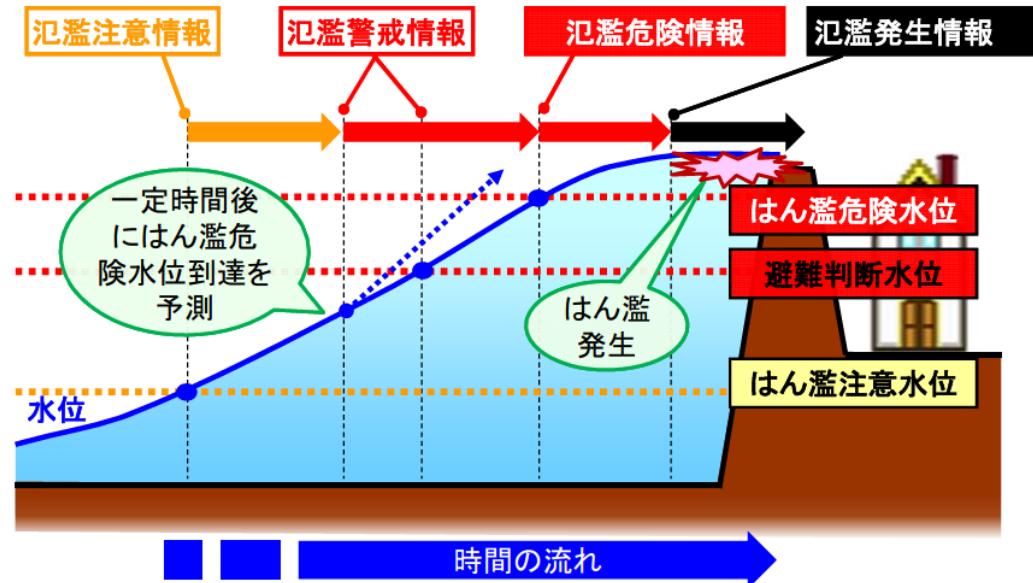
- 分かりやすい洪水予報伝文への改良 【平成28年度：留萌開発建設部、旭川地方気象台】
- 気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 【～平成29年度：旭川地方気象台】

	留萌開発建設部	旭川地方気象台
令和元年度 実施内容	○H29. 4より運用	○H29. 4より運用 ○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示及び大雨による浸水や洪水の危険度分布を気象庁HPで公表 ○警戒レベルの追記 (R1. 5)
令和2年度 実施内容	○H29. 4より運用 ○警戒レベルの追記 (R1. 5)	○H29. 4より運用 ○警戒レベルの追記 (R1. 5) ○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示及び大雨による浸水や洪水の危険度分布を気象庁HPで公表
令和3年度 実施予定	○必要に応じて改良	○必要に応じて改良

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応： A



洪水予報文(主文)の改良例

改良前

○○川では、氾濫危険水位(レベル4)に到達し、氾濫のおそれあり

○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、○○日○○時○○分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位(レベル4)」に到達しました。○○市、○○市、○○町では、○○川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

改良後

【警戒レベル4相当情報[洪水]】○○川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。○○川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、○○市、○○市、○○町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応：D

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 【平成28年度：留萌開発建設部】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知 【留萌市、JR】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知 【留萌市】

	留萌開発建設部	留萌市	JR
令和元年度 実施内容	○H28.7月に公表済み	○留萌市防災ガイド・マップを活用した、浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図に基づくハザードマップの周知	○留萌駅のほか、関係する無人駅4箇所の待合室にハザードマップを掲示(平成30年)
令和2年度 実施内容	○H28.7月に公表済み	○留萌市防災ガイド・マップを活用した、浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図に基づくハザードマップの周知	○留萌駅のほか、関係する無人駅4箇所の待合室にハザードマップを掲示
令和3年度 実施予定	—	○継続実施	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： A D J

- 小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

【引き続き実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊、JR】

- 関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催

【平成29年度から実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊、JR】

- コミュニティFM放送やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実

【引き続き実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警】

	留萌開発建設部	旭川地方気象台	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">○防災教育を継続実施○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会を実施○令和2年2月12日・13日、留萌川流域町内会との防災意見交換会を実施	<ul style="list-style-type: none">○令和元年5月28日、留萌管内防災行政ネットワーク第1回連絡会議にて気象防災に係る情報提供実施。○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会にて気象に関する講演実施。○令和元年9月2日に留萌管内市町村防災担当職員を対象に中小河川の氾濫を想定したワークショップを実施。○令和元年11月28日留萌開発建設部水門等水位観測員会議にて気象に関する講演実施。	<ul style="list-style-type: none">○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会を実施○ホームページに水防災意識啓発に係る情報を掲載	<ul style="list-style-type: none">○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会へ参加○令和2年2月12日・13日、開発建設部と留萌川流域町内会との防災意見交換会を実施○留萌市発行、広報誌への防災意識を啓発する記事を掲載○市HPにて住民の防災意識啓発に係る情報を周知
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none">○令和2年8月21日潮静小学校防災教育を実施○令和2年7月 樋門操作訓練を実施○浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表	<ul style="list-style-type: none">○コミュニティFMで定期的（月2回）に気象防災の普及啓発を実施	<ul style="list-style-type: none">○令和2年11月25日、地域防災力の向上を図ることを目的として避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会実施○ホームページに水防災意識啓発に係る情報を掲載	<ul style="list-style-type: none">○「1日防災学校」の開催を通じて、学校単位ごとの防災教育・避難訓練を実施○留萌市発行、広報誌への防災意識を啓発する記事を掲載○市HPにて住民の防災意識啓発に係る情報を周知
令和3年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none">○引き続き、1日防災学校の推奨や防災教育・避難訓練の場を通じて、防災意識啓発活動の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施○コミュニティFMでの普及啓発を引き続き実施	<ul style="list-style-type: none">○引き続き、1日防災学校の推奨や防災教育・避難訓練の場を通じて、防災意識啓発活動の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	<ul style="list-style-type: none">○引き続き、避難訓練の場を通じて、防災意識啓発活動の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施○市町が実施する防災教育の後方支援	<ul style="list-style-type: none">○引き続き、1日防災学校の推奨や防災教育・避難訓練の場を通じて、防災意識啓発活動の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施○お茶の間トークを活用した、住民との意見交換会を積極的に開催○引き続き、広報誌への記事掲載により、住民意識の向上を図る

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： A D J

- 小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

【引き続き実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊、JR】

- 関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催

【平成29年度から実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊、JR】

- コミュニティFM放送やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実

【引き続き実施：留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、道警】

	消防	道警	自衛隊	J R
令和元年度 実施内容	○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会へ参加	○各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施 ○各種イベント時に街頭啓発を実施	—	—
令和2年度 実施内容	○訓練や講習会への積極的な参加、情報共有を図る。 ○水防災に関する防災訓練への参加。 ○訓練や講習会で情報共有を図り、消防主催のイベント等で情報を発信する。	○自治体等が主催する水害避難訓練等に参加し、避難誘導や講話を実施 ○交番、駐在所作成のミニ広報誌や、警察署及び商業施設に設置している電光掲示板付自動販売機に防災に関する啓発文を表示し広報を実施 ○各種イベント時に街頭啓発を実施	○災害時に役立つ教育及び避難誘導訓練の実施 ○展示型（訓練・装備品展示）から、関係機関の職員と連携を重視した、効果的な防災訓練の実施	—
令和3年度 実施予定	—	○引き続き、自治体主催の防災訓練等に参加 ○引き続き、ミニ広報紙や各種イベント時における街頭啓発を実施	○継続実施	—

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： A D J

○潮静小学校(小学5年生)を対象に、昭和63年8月の大洪水の映像による振り返りや留萌防災ガイドマップによる浸水範囲や避難場所の確認及びマイ・タイムラインの作成などの防災教育を実施した。

令和2年度 留萌川(潮静小学校)での防災教育

目的：留萌川における災害とその対策について調べ、生活に与える影響の大きさとともに、洪水に備える避難行動の必要性を学ぶことを目的とする。

実施期間：令和2年8月21日（金） 6時限目

実施場所：潮静小学校

主 催：留萌開発建設部 治水課

参加人数：11人（5年生）

実施内容：① 近年の水害を踏まえ、児童自身が水害に合う可能性があることを知る。
② 留萌川流域での水害を防ぐための施設や取り組みがあることを学ぶ。
③ 水害から自分に命を守る行動(避難)をするために、日ごろから備えや訓練をしておくことが大切なことを学ぶ。
(マイ・タイムラインの作成)

項目

実施内容

近年の水害
発生状況

昭和63年8月留萌川大洪水災害記録《映像》
留萌川流域での水害を防ぐための施設の確認
留萌防災ガイドマップによる避難場所の確認

日頃からの
備え

マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ《映像》
マイ・タイムラインの作成

防災グッズ
の説明

備えておきたい防災グッズの説明
防災グッズを詰めたりュックの体験

防災教育の実施状況



昭和63年8月大洪水の映像による振り返り



留萌防災ガイドマップの説明



マイ・タイムラインの作成



防災グッズを詰めたリュックの体験

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： A D J

◆市民に向けた防災教育（旭川地方気象台）

■eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」（令和2年5月）

- 他人と接触せず学べる
- 専門家や経験者がいなくとも進められる内容
- 人数や実施形式に決まりなし
- WEB会議の開催・参加方法の説明資料あり



◆市町村職員の防災対応力向上（旭川地方気象台）

■地方公共団体の職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組

（令和2年11月）

防災気象情報の種類や意味を理解し、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学ぶことを目的に**気象防災ワークショップ**を開催。

実施日：令和2年11月20日(金)
場所：名寄市民文化センター
参加機関：名寄市職員
参加人数：24名
テーマ：中小河川洪水災害



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： A D J



留萌振興局での取組について

留萌振興局職員と管内市町村職員等との合同防災研修について

<概要>

- 近年、各地で大雨災害が発生している状況の中、災害が発生した場合に災害対応を円滑に行うための備えを十分に行う必要があることから、職員の災害についての認識を深めるため、旭川地方気象台と合同で「気象防災ワークショップ」を活用した研修会を実施した。

<開催日時等>

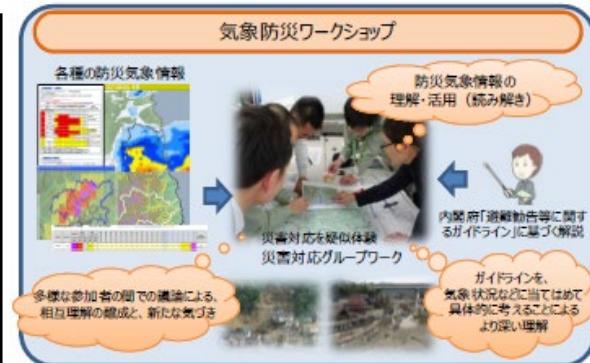
- 日 時：令和元年9月2日（月）10：30～15：00
- 場 所：留萌振興局2階講堂
- 参 加 者：留萌振興局職員及び管内市町村職員・消防職員

○ 気象防災ワークショップとは

防災気象情報を活用して、避難情報の発令など災害発生時の市町村の防災対応を疑似体験する（グループワーク形式）

○ 期待される成果

- ・ 防災気象情報の種類や内容を基本的に理解する。
- ・ 参加者が有する知識や経験を共有したり、自らの考え方との違いなどから様々な気づきを得るなど、その後の防災担当業務の改善につながる



6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

令和2年度避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ） 講師養成研修会（留萌振興局地域政策課）

目的

避難所運営ゲーム北海道版の普及を通じて、多くの道民が避難所運営を自分事として捉え、自らの備えや地域の防災対策の課題に気付くことにより、地域防災力の向上を図るため。



開催日時 令和2年11月25日（水）
10:30～16:00
場 所 留萌合同庁舎2階講堂
参 加 者 市町村職員、消防職員他



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

令和2年度に実施した取り組み内容(留萌市)

携帯電話を活用した防災情報のプッシュ配信	洪水ハザードマップ、避難情報内容等の周知
<p>○ヤフー防災専用アプリ活用した避難情報・防災関連情報のプッシュ配信の開始</p> <p>ヤフー防災情報アプリ</p>  	<p>○「お茶の間トーク」による、町内会防災講話の開催 ハザードマップで危険区域の確認</p>   <p>【泉町親和会お茶の間トーク】</p> <p>○1日防災学校によるハザードマップ・早期避難の周知 「防災かるた」の実施</p>   <p>【港北小学校】</p> <p>【潮静小学校】</p> <p>段ボールベッド組立体験</p> 

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施 【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊、JR】

課題対応： M

- 関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施

【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応： K L O

	留萌開発建設部	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所を見直し、関係機関等に周知している。 ○令和元年6月26日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所の見直し ○令和元年6月26日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年6月26日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会に参加
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所を見直し、関係機関等に周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、水防技術講習会未実施
令和3年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて重要水防箇所の見直しを行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて重要水防箇所の見直しを行っていく ○関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続実施

	消防	道警	自衛隊	J R
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年7月17日に水防技術講習会へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施 ○留萌市春日町及び大和田地区における防災訓練に参加し、住民の避難誘導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認 ○各自治体等が実施する防災訓練等に参加 	—
令和2年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○水防訓練や講習会へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水害を含む各種災害に関連した危険箇所等を視察して資料化し、随時更新を実施 ○留萌ダム洪水演習に参加し、水位上昇の際の情報共有や連絡体制の確保に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認 ○各自治体等が実施する防災訓練等に参加 	—
令和3年度 実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、関係機関と連携し、重要水防危険箇所の周知徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認 	—

6. 概ね5年で実施する取組～水害リスクが高い箇所について関係機関と合同巡視を実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: M

令和元年度重要水防箇所合同巡視の概要

目的: 関係防災機関同士のコミュニケーションを図ることや重要水防箇所及び危険箇所、危機管理型水位計の設置箇所の位置等の確認を目的に合同で巡視を行い、さらに水防資材について備蓄量、保管場所の確認や重要な河川管理施設(排水機場)の説明を行った。

実施日: 令和元年 6月26日(水) ※R2年度は未開催

参加機関: 留萌建設管理部、留萌市、留萌消防組合、留萌開発建設部 治水課、留萌開発事務所

留萌建設管理部・留萌市・留萌消防組合合同巡視の実施状況



東雲排水機場の役割と効果を説明し、排水ポンプやオイルマット等水防資材の備蓄量や保管場所について説明した。



重要水防箇所に設置されている危機管理型水位計について仕組みや情報サイトを利用した水位状況の確認方法について説明した。



越水が起こりやすい重要水防箇所及び危険箇所について現地で説明し、周辺状況や浸水範囲等の被害想定を確認した。

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: K L O

災害発生時における非常用電源の移転訓練（留萌振興局地域政策課）

目的

災害発生時における庁舎の代替施設については、留萌高等学校と協定を締結しているところではあるが、代替庁舎に移転する際には停電が発生していることも想定されることから、非常用電源を留萌高等学校へ移動し、電源の確保等の確認を行うとともに問題点や課題を整理する。

内容

振興局から非常用発電機を留萌高等学校まで搬送し、PC等に必要な電源の確保・ネットワーク接続確認及び衛星携帯電話の接続状況の確認を行う。

実施日時 令和2年8月11日（火）
午後2時～

場 所 留萌合同庁舎
留萌高等学校

参 加 者 7名



ハザードマップ（浸水想定内にある留萌合同庁舎）

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- 迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、自衛隊】

課題対応： N

- 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員の確保を図る
【平成28年度から実施：留萌市、消防】

課題対応： O

- 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認 【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、自衛隊】

	留萌開発建設部	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○留萌川減災対策協議会等において災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施 ○令和元年5月に留萌管内防災行政ネットワーク第1回連絡会議にて災害派遣要請の手続きを確認	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○公共施設等利用し周知を図る ○留萌川減災対策協議会等において災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施
令和2年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○4月実施の全道振興局防災係長会議において、災害派遣要請の調整方法を確認	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○公共施設等利用し周知を図る ○留萌川減災対策協議会等において災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施
令和3年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

	消防	自衛隊
令和元年度 実施内容	—	○災害派遣資機材等の充実
令和2年度 実施内容	○災害時に異常なく使用するため、資機材の定期点検を実施する。 ○消防庁舎へポスター掲示、消防主催のイベント等で水防団員募集案内資料の配布を行う。	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施 ○災害派遣資機材等の充実について継続実施 ○自治体との連絡体制について確認
令和3年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

水防資機材の保有状況の共有

国土交通省
北海道開発局
防災情報共有システム

緊急情報
地震情報なし
津波情報なし

絞り込み検索 ヘルプ 検索

凡例
【防災資機材】
● 開発局
◆ 道・自治体
■ 民間

リンク
防災インターネット初期メニュー
石狩川下流域防災情報メニュー

MYページ 総合地図 カメラ情報 道路情報 河川情報 ダム情報 気象情報 地震情報 津波情報 火山情報 防災情報

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

防災資機材(地図) 地域: 留萌地区 市町村: 留萌市 表示

課題対応: N

水防資機材の備蓄状況



災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

操作手順

地域: 留萌 市町村: 留萌市
機関: 留萌開発建設部 留萌開発事務所

用途: -- 分区: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	ケーブル類	コードリール	3.0 m	個	10	
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	#3000 3.6×5.4m	枚	110	東雪水防詰所
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	3.6m×5.4m	枚	100	
<input type="checkbox"/>	シート類	防水シート	3.6m×5.4m	枚	130	
<input type="checkbox"/>	トイレ	トイレ用テント	1人用	張	2	
<input type="checkbox"/>	トイレ	携帯トイレ・排便袋	排便袋	枚	2000	
<input type="checkbox"/>	トイレ	携帯トイレ・排便袋	携帯トイレ	個	200	
<input type="checkbox"/>	トイレ	簡易トイレ	トイレ用便座 洋式	台	2	
<input type="checkbox"/>	ポート類	エアーポート		艇	1	

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

操作手順

地域: 留萌 市町村: 幌延町
機関: 留萌開発建設部 幌延河川事務所

用途: -- 分区: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	アルファ米	えびピラフ 2.60g 外	食	110	
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	レトルトパック	カレーライス外	食	120	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	みそ汁	食	10	みそ汁 160 g
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	スープ缶	食	20	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	フルーツ缶	食	34	
<input type="checkbox"/>	パン類	パンの缶詰	カンパン及び保存パン	食	164	
<input type="checkbox"/>	ポンプ機材	排水ポンプパッケージ	1.0m3/min	セット	1	
<input type="checkbox"/>	保安用品	ロープ	1.00m	巻	1	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	麻袋用 φ16mm L=120cm ~160cm	本	2043	

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応：



- 浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進
【引き続き実施：留萌市、消防】

	留萌市	消防
令和元年度 実施内容	○防災ガイドマップ等配布し情報共有を図る	—
令和2年度 実施内容	○防災ガイドマップ等配布し情報共有を図る	○浸水想定区域内の拠点施設の位置等を確認する。
令和3年度 実施予定	○継続実施	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応: H P Q

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成

【～平成30年度：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、道警、自衛隊】

- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防】

	留萌開発建設部	旭川地方気象台	留萌振興局	留萌市
令和元年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年4月23日、水防連絡協議会において災害対策機械の出動要請に必要な事項を説明 ○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会を実施 	○水防連絡協議会に参加	<ul style="list-style-type: none"> ○留萌市防災会議で情報を共有 ○水防連絡協議会に参加 ○令和元年7月17日、水防技術講習会に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○水防連絡協議会に参加 ○令和元年7月17日、水防技術講習会に参加
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年6月17日、天塩川下流・留萌川減災対策協議会（書面開催）において災害対策機械の出動要請に必要な事項を説明 	○水防連絡協議会に参加	<ul style="list-style-type: none"> ○留萌市防災会議で情報を共有 ○水防連絡協議会に参加 	○水防連絡協議会に参加
令和3年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施	○継続実施

	消防	道警	自衛隊
令和元年度 実施内容	○令和元年7月17日、水防技術講習会に参加	○隨時、担当者が各関係機防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している	○各自治体等の作成した排水計画を確認
令和2年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な資機材の点検、訓練の実施。 ○関係機関との連絡体制及び調整方法について確認する。 	○隨時、担当者が各関係機防災担当者を訪問又は電話連絡するなどして情報共有及情報提供依頼を行い、連絡体制を維持している。	○各自治体等の作成した排水計画を確認
令和3年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応: H P Q

- 大規模氾濫減災協議会の取り組み方針並びに緊急行動計画に基づき、「令和2年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成」するものとする。なお、ここで言うところの『排水計画』は、排水作業の準備にかかる計画であり、今後、『排水作業準備計画』と呼称するものとする。
- 『排水作業準備計画』は、実際の洪水時に、氾濫状況に応じて、排水作業の進め方を検討・決定する上で必要な基礎資料を事前に準備し整理しておくもの。国土交通大臣が行う特定緊急水防活動のための基礎資料ともなるもの。
- 原則、想定最大規模降雨で検討を行うこととするが、状況に応じて、まず計画規模降雨等で検討することも可とする。
- 『排水作業準備計画』は協議会等の場を通じて関係者間で共有するとともに、本資料により訓練を実施する。

留萌川 排水作業準備計画
ハンドブック（案）

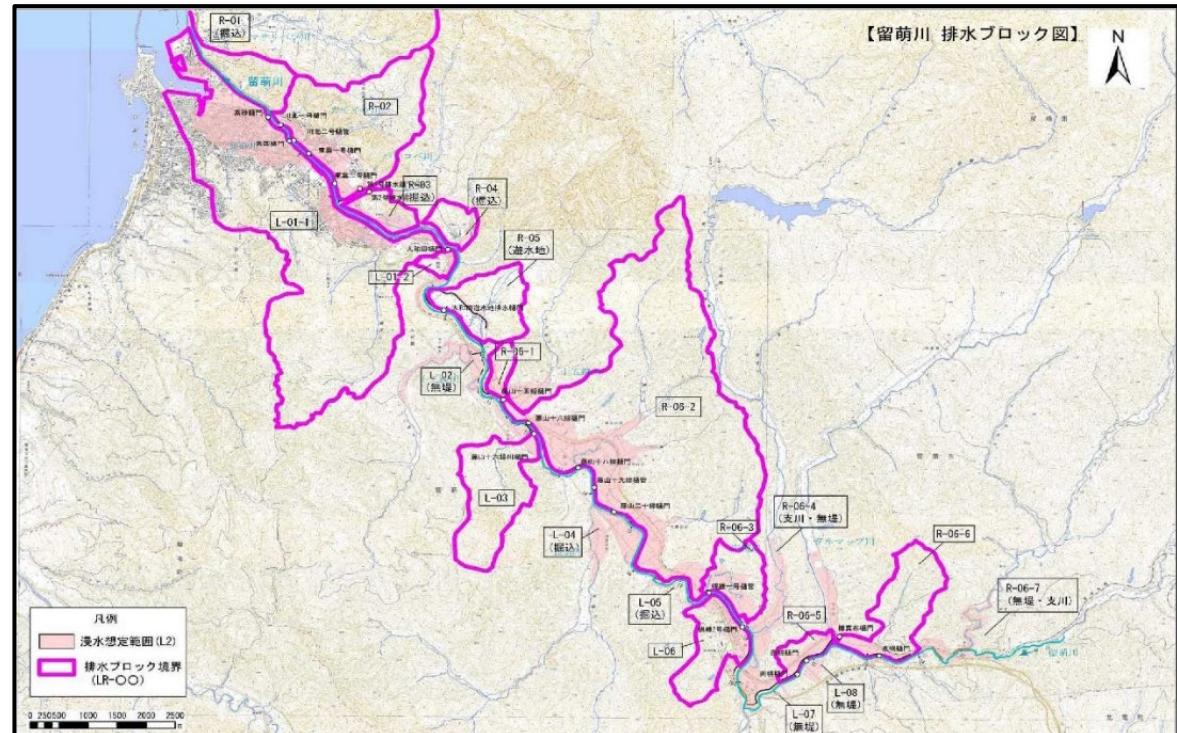
【全体編】



令和2年3月

留萌開発建設部

2-1-284



減災対策協議会(道管理区間含む)今後の進め方

平成29年7月（出水期前）減災対策協議会設置

- ・既存の減災部会を法定協議会化。新たな構成員を追加（自衛隊、警察、消防、JR）
- ・道管理区間にに関する現状のリスク情報、取組状況の共有
- ・取組方針（国管理区間）フォローアップ
- ・今後のスケジュールの確認

規約の承認
協議会の設置

各機関、取組方針に基づき取組の実施

令和3年6月上旬～中旬 5年間の取組に関するフォローアップ調査

- ・H28～R2年度取組内容のフォローアップの取りまとめ
- ・R3年度以降の取組方針に関する意見の取りまとめ

取組方針改訂（案）の検討

令和3年6月28日 減災対策協議会 幹事会

- ・協議会における協議事項の事前確認

現段階

令和3年7月9日 減災対策協議会

- ・R2年度取組内容のフォローアップ
- ・H28～R2年度の取組の総括
- ・取組方針の改訂に関する決議

- ・R3～R7年度の取組方針に改訂

取組方針の改訂